

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	支援内容・取り組み・方針・改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導・訓練に十分なスペースが確保できている。 内訳は学習室(29.48㎡) パーテーション等で仕切られた学習する机が4席。。カームダウンに使える個室が1室。 全体室(44.9㎡)ワーク等を行うテーブルが3台。学習する机2台。 運動室(59.57㎡)トランポリン等運動ができる部屋が1室。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			社会福祉士・精神福祉士・元特学先生等の資格と経験豊富なスタッフと人員配置以上にスタッフを配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	○			プーさんは2階にあるため階段がある。階段はスタッフの介助により上がることができる。(合理的な配慮をおこなっている。) 2階は車いすで利用できるトイレがあり、段差等もなくバリアフリーができています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか				利用者の個別支援計画に基づいて発達支援・生活支援・自立支援・学習支援・余暇支援・運動支援に分けて療育を行っている。療育前の当日スタッフのミーティングで評価や改善を行い問題ない場合は定期的にモニタリングをおこなう。緊急を要する場合は関係機関(保護者・学校・相談支援専門員・行政等)と支援会議ができる体制をとっている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向は送迎時や支援会議・相談支援専門員との連携している。独立した相談室でいつでも保護者の相談ができる体制を整えている。アンケート実施済
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果をホームページと事業所内掲示板に掲示している。
	⑦ 第三者による外部表評価を業務改善につなげているか		○		第三者機関の評価は費用面で難しいが、佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会に参加し情報の交換・研修・運営等業務改善につなげている。次年度から連絡会で評価委員会を作る予定なのでそちらを利用し業務の改善に努める。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			佐賀県療育センターの研修・県社会福祉士会研修・各研修会に参加し、個別事業については適時専門家の指導を受けている。佐賀中部地区放課後デイサービス研修参加と他事業所との連携を行っている。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか	○		契約時やモニタリング時の定期的なアセスメントと保護者面談・送迎時等を利用してニーズの把握に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事前の話し合いの中で、各児童の担当者から活動プログラムと実施方法等について提案があり検討し実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動プログラムを児童の発達状況に応じておこなっている。ワークに対する意欲・興味が短時間しが持たない児童には特に配慮している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日は学習支援(言葉の習得・学校宿題・勉強の補助)や生活自立支援(排泄・身辺等)を主におこなう。長期休暇は社会見学・就労B事業所等の作業体験・外食や買い物体験等毎日行事をおこない、経験と成功体験を積み重ねる活動をおこなっている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童の状況や障害特性を考慮して、個別と集団活動を適宜組み合わせることがベストではないかと考えている。児童の状況に応じてモニタリングをおこない放課後等デイサービスの計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		平日は13時から送迎時間等の確認、利用者の支援状況、役割分担等を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎でスタッフがそろわないので必ずその日の支援の振り返りや気付きを共有できていないのでケース記録や連絡帳、昼の支援前会議で共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録は個別のケース記録や学校と共有化している連絡帳等で記録の徹底している。支援前会議でそれらを活用し支援の検証・改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月、1年のモニタリングを確実にやっている。本人の状況等を日々の記録や会議の中で検討し必要と思われる場合は計画の見直しをおこなっている。

<p>①⑨</p>	<p>ガイドラインの総則の基本活動 (ア・イ・ウ・エ)を複数組み合わせる支援を行っているか ア、自立支援と日常生活の充実のための活動 イ、創作活動 ウ、地域交流の機会の提供 エ、余暇の提供</p>	<p>○</p>		<p>ア、食 事・排泄等日常生活の基本動作や他害などコミュニケーションが難しい児童に日々の活動プログラムの中で支援している。門松作り等の創作や料理作りなど児童ができるようになることで成功体験をつむことができている。また学校と連絡長の共有化や支援会議の参加で学校との連携を図りながら支援している。 イ、ポニーの お世話・プランターで花育成・畑での野菜づくりで自然に触れ合う機会を設けている。また初詣や節分・夏祭り等に季節行事をその時々におこなっている。 ウ、土曜日や長期 休暇中は工場などの社会見学、就労B事業所や入所施設への体験・交流会、外食・買い物練習、水族館見学、消防・警察署見学等をおこない毎日活動している。また夏祭りや餅つきは地域の方と交流している。高校生・読み聞かせボランティアや障害者スポーツ協会のポッチャ等の障がい者スポーツ体験も参加している。 エ、運動室でト ランポリンやバランスポール等の運動や遊びを楽しむ時間を作っている。また児童に居場所の確保を保証している。</p>
<p>②⑩</p>	<p>障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか</p>	<p>○</p>		<p>基本的には児童発達支援管理責任者で対応している。児童指導員も同席した方が良い場合は担当者会議を午前中に開催してもらうなどしている。</p>
<p>②⑪</p>	<p>学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか</p>	<p>○</p>		<p>学校では金曜日に来週の行事や下校時間等を書いた便りを見せてもらいトラブルが起きないようにしている。また学校によっては下校時間をFAXしてもらう所もある。学校で急に変更なる場合も電話連絡していただいている。</p>
<p>②⑫</p>	<p>医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場所は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか</p>	<p>○</p>		<p>放課後等デイサービスプーさんは医療必要な子供達の受け入れ対象外事業所です。法人内(同敷地内)に看護師が常勤でいる。また嘱託医が月1回訪問している。緊急時の嘱託医と協力医療機関は同じで連携はとれている。</p>
<p>②⑬</p>	<p>就学前に利用していた保育所や幼稚園、確定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか</p>	<p>○</p>		<p>児童発達支援事業所とは、事業所のアセスメント等の情報必ず共有を行っている。</p>
<p>②⑭</p>	<p>学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業者へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか</p>	<p>○</p>		<p>障害福祉サービス事業者の要望に沿って情報提供している。プーさんは何時でも情報提供できるが事業所によっては新しくアセスメントをするので必要ないといわれる所があるため。</p>
<p>②⑮</p>	<p>児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連帯し、助言や研修を受けているか</p>	<p>○</p>		<p>佐賀県療育支援センター(児童発達支援センター)の研修に参加している。また肥前医療センターの医師やクレアの諸石様の助言を定期的に受けている。</p>

②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		夏祭り等の行事に地域の子供を招待したり、ポニー乗馬やふれあいなどで活動機会を設けている。
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		佐賀地区の自立支援協議会はまだ機能していない為、佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会を作り会長・運営委員として行政・学校・各事業所の連携と事業所の質向上のために研修会等を立案・実施している。
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳・SNS・面談・電話相談等で共通理解を図っている。
②⑨	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		児童の障害特性を理解して頂くための情報提供をまず第一に考えている。困難事例検討会を不定期に行っていて、そこで専門家の助言や指導を受けているので保護者と事業所が連携して児童に対応できるように努めている。
③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時の説明や掲示板に掲示することで内容を理解して頂いている。
③⑪	保護者のからの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時に本人の様子を伝えたり、連絡帳のやり取りの中で悩み等を聞く機会を作り、問題によっては面談や他の関係機関を紹介したりしている。
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父母の会はまだできていない。働き方の多様化により一同に集めて開催するよりもSNS等の利用で連携を図っている。
③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情に対する窓口や担当者を決めて対応している。契約時に保護者には周知している。また事業所内の掲示板に担当者や相談時間等を掲示している。
③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子ども保護者に対して発信しているか	○		プーさんだよりを毎月発行している。日々の様子はフェイスブックで発信している。顔出し等の情報に関しても保護者の了解を得ておこなっている。
③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		スタッフに対して、個人情報に関する誓約書とり、退職後も情報を流さない事を誓約している。取り扱いについても個人情報に関するものの処理はシュレッター等注意している。
③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		説明時に文字を大きくしたり解りやすい言葉で話すように心がけている。場合によっては実物や写真等を使う。
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		夏祭り・餅つきなど季節行事に参加の呼びかけしている。近くのお寺や保育園の行事がある時駐車場を提供している。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定している。すぐ見れる所においている。事業所内研修を行い周知している。保護者には事業所内掲示板で周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練の実施や防災研修に参加している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待に関する研修にスタッフを派遣している。事業所内でも虐待の研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、やむを得ず身体拘束をしている利用者はいない。保護者の事前説明と個別支援計画に記載する事、記録に残す事の準備はできている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		利用前のアセスメント時に確認している。食事、おやつは提供していないので保護者に任せている。、支援の料理作りの時に食材について配慮している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所内のヒヤリハットはファイルしていつでも見れるようにしている。